

軒に杉玉 新酒の季節到来



新酒ができたことを告げる真新しい杉玉が1日、飛騨市古川町壱之町の造り酒屋「渡辺酒造

飛騨

店」に掲げられた。店先では搾りたての新酒が振る舞われ、城下町の風情を残す飛騨古川の町

並みは、日本酒の香ばしさに包まれた。

1870年創業の老舗で、杉玉は直径80センチ、重さ70キロ。神事後、法被姿の蔵人たちがはしごに登り、地上約6メートルの軒下にあった昨年の茶色くなった杉玉を外して、青々とした杉玉に取り換えた。

渡辺久憲専務(43)は「夏が暑くて米の出来にやきもきしたが、十分に上々。フルーティーでこくがあり、軽快な味に仕上がった」と満足そうに話した。来年4月までに一升瓶45万本分を醸造するという。